



バルトンの弟子で東大教授中島鋭治

明治44年、松江市は高橋助役、三島議員らを秋田・高崎・堺市に視察派遣。東大教授中島鋭治に詳細な調査を依頼。中島の基本計画は、バルトン案を支持して、水源は忌部とし床几山にろ過池・配水池を設け自然流下により市内に配水するとした。この案を受けて、大正3年11月より工事に着手した。